

龍ケ崎市医療と介護の情報連携シート 利用マニュアル

1. はじめに

龍ケ崎市では平成27年度より在宅医療介護連携に取り組み、「龍ケ崎市在宅医療介護連携推進会議」の中で支援者に対する多職種の情報共有の手段として、今回「龍ケ崎市在宅医療介護連携シート」を作成しました。

関係職種の皆様には、本シートの積極的な活用について、ご理解ご協力をお願いいたします。

※本マニュアルおよびシートの様式は、龍ケ崎市ホームページからダウンロードすることができます。

龍ケ崎市ホームページ <http://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/>

[トップページ > 福祉・こども > 高齢者福祉・介護 > 地域支援事業]

2. 連携シートの目的

このシートは、主に在宅療養する方が、医療・介護及び生活に必要な情報を記載し、支援する専門職の方々が円滑な連携を行うためのツールとして活用していただくことを目的としています。

3. 連携シートの用途

- ①病院退院後、在宅療養を始めるとき
(退院カンファレンスで利用)
- ②ケアマネジャーが担当している利用者が入院したとき
- ③ケアマネジャーが担当している利用者が施設に入所したとき
- ④ケアマネジャーが担当する利用者の主治医に情報を提供するとき
- ⑤ケアマネジャーが担当する利用者の訪問診療を依頼するとき
- ⑥ケアマネジャーが担当する利用者のサービス担当者会議を開催するとき
- ⑦利用者が新しくサービスを利用するとき

など、医療と介護関係者間の情報提供、情報共有の手段としてご使用ください。

4. 連携シートの記入例

別紙参照

※留意点

- ①個人情報の漏えい防止には細心の注意を払ってください。
- ②不確実な部分は記入しなくても構いません。